

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所ぐらほび		
○保護者評価実施期間	令和8年2月10日		～ 令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	令和8年2月10日		～ 令和8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○訪問先施設評価実施期間	令和8年2月10日		～ 令和8年2月28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援・放課後等デイサービスでの様子などを共有し、支援の解像度を上げる工夫を行っている。	事業所内でも、情報共有を意識し課題の共有を行っている。	自助具などまだ取り入れていない部分の強化を図っていく。
2	訪問先に合わせた訪問支援	訪問希望日を聞きながら、より重要度が高い時間を優先して訪問を行っている。	訪問支援員の増員を検討している。
3	経験・知識のある職員の訪問	5年以上・10年以上の職員を中心とした訪問支援員体制。	研修などを実施していきながらさらなる質の向上に努める。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問可能日数の少なさ	月2回だと足りない事例もあり。	訪問支援としてではなくとも、訪問したりして関係性の構築に努める。
2	訪問支援員の少なさ	全体の児童数に対する、訪問支援員数が足りていない。	訪問支援員の増強を検討している。
3	オーダーメイド支援の難しさ	各児童・訪問先によって課題や改善点が違う為、より高度な支援が求められる。	職員全体で話し合いながら、協議していく